

前橋市アーバンデザインの策定について

市街地整備課

1 策定の背景と目的

人口減少社会やひっ迫する地方行財政等の状況下において、行政主体のまちづくりには限界が見え始めている。その一方で、官民連携でまちに賑わいを取り戻し、これまで使われてこなかった施設が多くの人に利用される事例が複数紹介されるようになり、本市の中心市街地においても官民連携の様々な取り組みが始まり、まちづくりの主体が行政から民間へと移行する転換期を迎えている。

民間主体のまちづくりを推進する上では、様々なステークホルダーの羅針盤となる理念が必要であることから、官民協働で「前橋市アーバンデザイン」を策定した。

策定により、市民や企業、行政のそれぞれが「自分ごと」として地域の課題を捉え、自主的、または連携して課題解決に取り組むことで、中心市街地の活性化を図る。

2 策定区域

前橋駅から中心商業地を経て県庁周辺のエリアを含む中心市街地約 1 5 8 ha

3 主な内容

【ビジョン・プラン編】…理念を共有するための長期的視点に立ったまちづくりビジョン（まちづくりの方向性、将来像のイメージパス等）

【アクション・プラン編】…具体的な事例を提案することにより民間のアクションへとつなげる（デザインガイドライン、モデルプロジェクト等）

4 アーバンデザインの特長

■民間が主体となり、計画に実行力を持たせるための策定のプロセスとして、ワークショップに地域住民や学生、民間事業者等のまちのキーパーソンを選定し、合計 11 回開催し、延べ 200 人の参加を得て意見を聞いた

■庁内連絡会（1 3 課）及び、外部有識者による策定協議会を随時開催し、関連計画との整合を図るとともに、民間主体まちづくりに必要な視点や表現を取り入れた

■ビジョン共有のために図や写真により視覚的なイメージを示した

■公共空間の活用、管理を前提とした民間主体のエリアマネジメントを推進するため、示された公共空間の整備ありきではない合意形成をおこなっていくプロセスとした

■策定後には個別の通りやエリアごとの勉強会を開催し、実際のアクションへつなげるとともに、民間主体の組織づくりを促すプロセスを示した

5 公表等のスケジュール（予定）

9 月 13 日 ホームページにて公表（投げ込み）、広報まえばし（9/15 号）にて周知

10 月 8 日 まちづくりシンポジウム開催（調整中）

※アーバンデザインとは

デザインの改善や最適化により、見た目の美しさだけでなく、まちが使われることによる利便性や安らぎ、楽しさなどの価値もまちづくりに取り入れようとする考え方